



必死の脱出

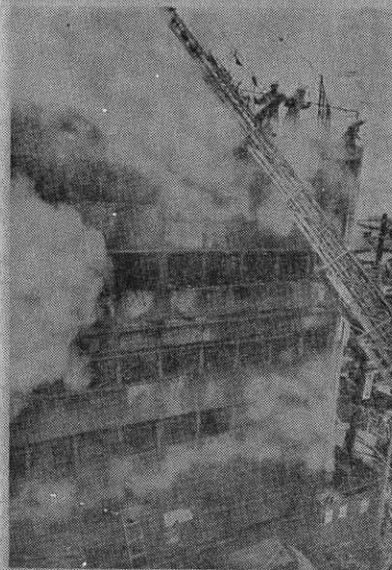
炎に迫る危険な屋上から、ハシゴ車で助け出される住民。大層市消防局が駆けつけ、火を消す。

脱出阻む非情の金網

西成で高層ホテル全焼

4人が死亡、59人重軽傷

簡易ホテル 328室の超過密



熱風・猛煙／高層ビルに火が燃え、大勢の住民が逃げ出す。火災現場、逃げ遅れた人々の惨状が写真に収められた。

熱い、助けてくれ／

早朝 着のみ着のまま屋上へ

【大阪毎日記者 西成 大塚 隆夫 取材】
西成区西成町の「西成高層ビル」で、昨夜（十日）深夜、大規模な火災が発生した。火災は、同ビルの一階から始まり、次第に上層部へ広がっていった。火災発生時、ビル内には多くの住民が滞在していたと見られる。火災発生後、消防隊が駆けつけ、消火作業を行ったが、火勢は非常に大きくなり、ビル全体が炎に包まれた。火災の原因は、一階の電気配線ショートと見られる。火災発生後、ビル内には多くの住民が滞在していたと見られる。火災発生後、ビル内には多くの住民が滞在していたと見られる。火災発生後、ビル内には多くの住民が滞在していたと見られる。

世を渡る者 労働を笑顔を 笑顔を笑顔を

“平成”大火であぶり出された
 ドヤ財閥のもうけぶり

特集

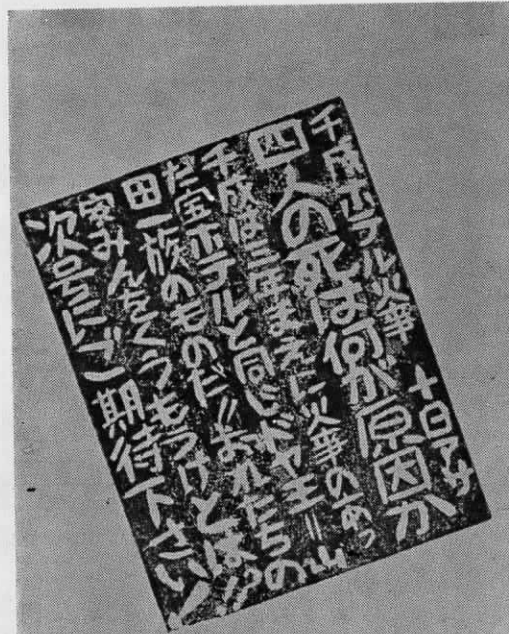
この冬こうシメいだ シメグ＝生きる

4月特別号
 【第5号】

町を明るくする会

ある。特集への始動はその時だった。

なお、余談だが朝日新聞の方の写真撮影者福島茂さんは、この写真で朝日新聞社と全日本写真連盟が共催している第二十一回「読者の新聞写真コンクール」で年度賞の日本一に選ばれた。（寺島）



1975年3月8日発行「労務者渡世」編集委員会定価100円

こういう火事があった。

「労務者渡世」四号が、

発行予定日の三月八日より

少し遅れて、製本のできた

朝だった。

ついに!! また!!!

一息いれていた編集委員

会の面々はひとしくそう思

った。

そして、委託店への配本

前に、ウラ表紙へ次のよう

な手彫りのアピールを加え

た。彫って捺したのは当時

の編集委員代表中原哲也で

わたしの屍を地に覆かすな
おまえたちの死は
地に休むことができない
わたしの屍は
立棺のなかにおさめて
直立させよ

地上にはわれわれの墓がない
地上にはわれわれの屍をいれる墓がない

—— 田村陸一「立棺」(『田村陸一
詩集』、一九六八年、所収)より